



「丈夫な体づくり～健康が一番～」

小学6年生の子どもたちは体の成長が活発で、成長過程の重要な時期にあります。市川先生は、人の成長には環境や遺伝、生活習慣が影響していることや、健康な体づくりに栄養摂取と消費のバランスが大切で、そのために必要とされることを例を挙げて説明してくれました。また、骨は丈夫な体づくりに欠かせないもので、「今の若いころから骨密度を意識して運動・栄養・日光を取り入れることで疾病予防、疾病死亡率の低下、生活の質の向上につながります」と話し、子どもたちは骨の大切さも学びました。

先生のお話

市川 厚 先生
高知大学医学部生理学
教室助教
女の子2人の父
高知大学医学部・大学院卒業。生理学と検査医学を専門として検査技師も務めています。エコチル調査では高知独自の追加調査に関わっています。

健康な体づくりに取り組みましょう!



体のいろんなことがわかるんだって!



身体測定で自分の体を知ろう! (体組成測定体験)

体組成とは体を構成する組織のことで、身長と体重を測り体組成計に入力すると体脂肪量、筋肉量など体のいろいろな数値を知ることができます。普段の健康診断ではなかなか受けられない検査なので保護者の方も興味津々です。

初めての骨密度測定にドキドキ!



骨密度はいったいどのくらいかな? (骨密度測定体験)

透明なジェルを塗った足を測定機に入れて、かかとの骨に超音波をあてることで骨の強さ(骨密度)を測定します。市川先生は一人ひとりの測定結果を見ながら、これからの生活で気を付けたいことなどのアドバイスをしてくれました。

栄徳先生からのメッセージ

エコチル調査はこれからも皆さんが主人公です

終わりの挨拶に立った栄徳先生は、「13歳以降も続く調査ではアプリなども使って行います。より良い調査とするために一緒に作り上げていきましょう。今日はどうもありがとうございました」と、これまでエコチル調査にご協力いただいた保護者の方々や子どもたちに感謝を述べ、大きな拍手とともにイベントを締めくくりました。



インタビュー

子どもたちにイベントに参加した感想を聞きました!

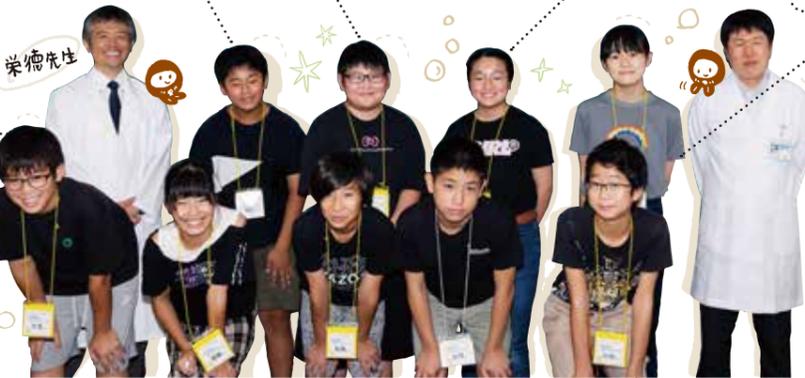
DNAを取り出す実験が楽しかった!
野菜ジュースからDNAをどうやって取り出すのか最初は不思議だったけどうまくできました。最後にプレゼントをくれたのもうれしくて、また参加したいです。
(植野 汐音さん)

実験を夏休みの自由研究にしたいな。
骨密度は測ったことがなくて、これから何に気を付けたらいいか聞けてよかった。実験ではスポイトを使ったりする作業が面白かったので、自由研究にしてみたい。
(中平 凌太郎さん)

水俣病のことがとても興味深かった。
水俣病のことは学校で習っていたけど子どもへの影響など詳しくは知らなくて。将来自分のお腹に子どもができたらか食べ物などちゃんとしていきたいと思えました。
(田中 かおりさん)

自分の骨密度が知れてよかった!
運動やカルシウムを摂ることで骨密度が高くなるのが知れてもっと運動をしようと思った。実験など普段経験できないことができて貴重な経験になりました。
(深田 紗世さん)

DNAが肉眼で見れると思わなかった!
DNAがどこにあるのか知らなかったけど肉眼でも見れて驚きました。これからもエコチル調査を続けたいし、医学の発展につなげてほしいです。
(大平 恵太さん)



栄徳先生

市川先生

保護者の皆さんの感想

▶なかなか入れない実験室に入って子どもたちが楽しそうに実験をしている様子が見られてよかったです。

▶子どもの健康は妊娠中から関係しているということを知りました。この子たちが大人になったとき気を付けて過ごしてくれたらいいなと思いました。

▶水俣病の話は自分自身も知らないことがあって勉強になりました。またこんな機会があったらぜひ参加したいです。

エコチル調査はこれからも参加します!

先生方の話はとても分かりやすく、水俣病についても学校で習っていたことつなげて考えることができました。私は理科の実験や研究が好きなのでまた参加したいです。
(斎藤 葉月さん)

実験キットを使って家でもやってみたい!

遠心分離機を使ってDNAを抽出する実験が面白かった! 骨を硬くするにはカルシウムを摂ったり吸収を促進する食べ物を摂ったりしたいことがわかりました。
(松尾 紫音さん)

学校で学べないことがたくさんあった!

実験は最初どうなるかわからなかったけど、集中してやると最終的にDNAができてすごいと思った。今日は楽しかったのでまた来たいです!
(村岡 歩さん)

エコチル調査の大切さわかりました。

毎日の暮らしで大切なこととそうじゃないことの説明がわかりやすかった。先生の話からエコチル調査の大切さもわかってこれからも続けたいと思いました。
(小池 太市さん)

ご参加ありがとうございました

column

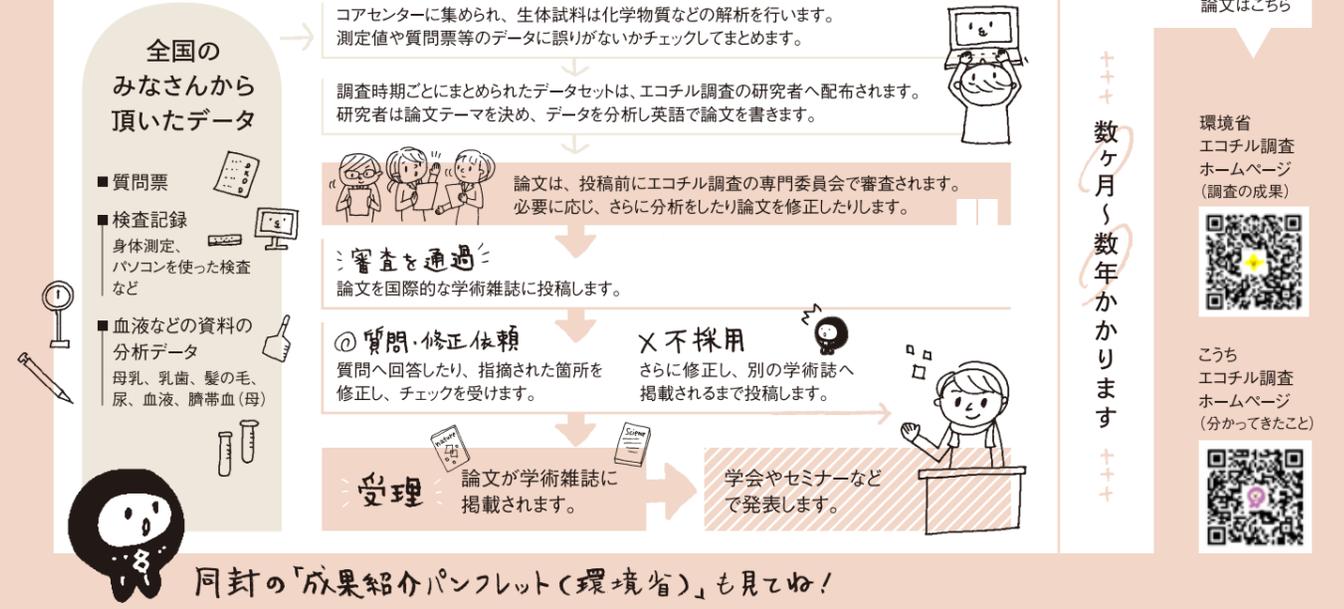
おしえて安光先生



安光ラヴェル 香保子 先生
高知大学医学部特任助教
女の子・男の子2人の母

論文が世に出るまでに、半年～1年以上かかるのをご存じですか?

みなさまにご提供いただいている質問票、生体試料、検査の結果などは、全て国立環境研究所(コアセンター)に大切に保管され、多くのプロセスを経て、少しずつその成果発表ができるようになってきました。現在、エコチル調査に携わる研究者は全国で約800名、そして約500編の論文が学術雑誌を通じて世界に発信されています。論文や学会発表を通じて世界中の科学者たちがコミュニケーションを重ね、少しずつ科学が進歩していく中に、エコチル調査の貴重な研究結果も貢献しています。科学的な研究結果が国の政策に影響を与えることもあり、私たち研究者は、参加者ひとりひとりからいただくデータの大きさを日々実感しながら調査に携わっています。



同封の「成果紹介パンフレット(環境省)」も見てね!

▶13歳以降調査について

環境省動画チャンネル ▶ [エコチル調査ってなんだらう?～13歳以降の調査に向けた環境省からのメッセージ～](全体版)

小学6年生のみなさんへ

「期間限定プレ質問票」対象期間延長 3/31まで!!

13歳以降調査に「同意」されていない方、まだまだ間に合います!!

2024年3月31日までに、13歳以降調査継続に「同意」して下さった方に500円分図書カードと「期間限定プレ質問票」回答で500ptが謝礼として進呈されます。まだ13歳以降調査に「同意」されていない参加者さんは、3/31までに参加者ポータル(アプリ)にログインをお願いします。

回答期限
2024年
4月1日

また、同意いただいたみなさんへ、昨年の12月より子どもアカウント情報(ID/パスワード)を簡易書留にて送付しております。アカウント情報が届いたエコチルキッズのみなさんは、参加者ポータル(アプリ)にログインして「期間限定プレ質問票」に回答して、ぜひ謝礼を受け取って下さい。

回答期限
2024年
4月30日

小学5年生のみなさんへ

小学6年生になったら説明書・アカウント情報をお送りします!!

エコチル調査は、当初はご参加いただいていたお子さんが13歳に達するまでの計画で進めてきましたが、このたび、13歳以降も調査を継続することが決まりました。みなさんのご協力により多くの研究成果が報告され、社会貢献度が高いプロジェクトとして認められたためです。これまでいただいた情報を活かしつつ、思春期以降の健康などについても、調査研究を続けることになりました。

これまでの調査と何が違うの?

13歳以降の調査では、質問票や謝礼について下記のように変更となります。

▶13歳まで(小学生)	▶13歳(中学生)以降
紙の質問票	様式 WEB質問票
ポスト投函	提出方法 参加者ポータル内での送信
主に保護者	回答者 保護者とお子さんそれぞれ
年2回	回数 年に5～6回程度の予定
1回につき30～40分	所要時間 1回につき5～10分程度
保護者	謝礼の対象 保護者とお子さんそれぞれ
JCBギフトカード	謝礼の内容 ポイント

